

2024年2月2日

第28回精神病態セミナー

「炎症のうつ病への関与と個別化医療の可能性」

演者：岩田 正明先生

モノアミン仮説に基づかない新たなうつ病治療薬について、ケタミンを筆頭に世界的な情勢と課題、そして岩田先生が実施されている新薬の開発状況についてご紹介いただきました。脳内における炎症反応のメカニズムから、新薬の作用機序と動物実験の結果まで大変わかりやすくまとめていただき、とても勉強になりました。特に、生体内で産生されるケトン体が治療薬となりうる可能性を秘めていることに驚きました。うつ病の病態解明と新たな治療戦略に向けた希望にあふれる研究内容でした。

